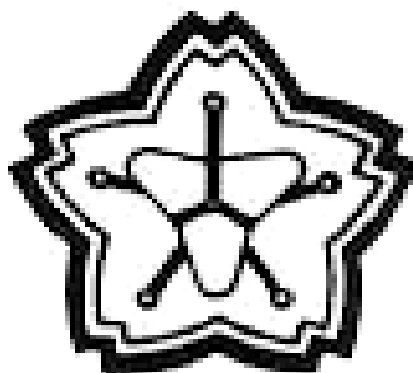


令和7年度

# 消防団年報



加西市

令和8年6月刊行

# はじめに

この年報は、加西市消防団の消防現勢及び令和7年度中の消防団業務に関する諸般の事項を統計的に集録し、今後の消防団施策などの指針とするとともに、本消防団の実態を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報中の出動状況については暦年（1月から12月まで）とし、これによらないものについては、各表の記載年月日により集録しています。

令和8年6月

加 西 市

# 目 次

加西市消防団の概要	1
加西市消防団の沿革	2
消防団の主な事業内容	6
消防団の組織	7
消防団機械器具装備状況	7
消防団員数	8
在職年数別消防団員数	9
消防団員報酬	9
消防団員出動手当	9
階級別年齢別団員数	10
消防団出動状況	10
消防団員表彰関係	11

## 加西市消防団の概要

加西市は播州平野の北側にあり、北部には山地が多く、南部は、広大な平野と丘陵からなっています。穀倉地帯として米の生産量も多く、良質の酒米「山田錦」の生産も増えています。また、加西ぶどう「ゴールデンベリーA」や小麦、大根、トマト等の生産も盛んです。また、地域経済のさらなる発展と産業用地の内陸需要に応えるため、中国自動車道加西インターチェンジ周辺に加西市5番目となる新たな産業団地「加西インター産業団地」の整備を行い、市内4箇所にある工業団地も含め市の活性化への期待が高まっています。

加西市消防団は、甘中直樹消防団長以下12分団98部（班含む）、団員数1,151名で組織され、救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台を配備し、防災の要として4月の消防大会から、新入団員現場訓練、部長・新入団員礼式訓練、水防・機関員訓練、花火警備、一斉非常演習、防火宣伝パレード、林野火災訓練、年末火災特別警戒、重要文化財防火訓練等、鋭意活動を行っています。

令和6年度より、防火・防災における女性の視点での取り組みを可能にするべく新たに女性消防団 KASAI Fairies を発足させ、応急手当の普及啓発活動などの取り組みを進めています。また、地域の安全及び防災力を高めるための市民参加型のイベント【KASAI 防災フェスティバル】を開催し、市民一人ひとりの防火・防災に対する正しい知識の習得を図るとともに消防団活動に対する理解を深める活動に取り組んでいます。

近年、全国各地で地震・大雨等の自然災害が発生しており、地域防災力の要となる消防団への期待が益々高くなる中、加西市消防団は、住民で組織される自主防災組織とも連携を図り、市内各所で自主防災訓練を行うなど地域密着型の活動を展開しています。

また、火災の発生時の迅速な対応はもとより、“火事を出さない！出させない！”を合言葉に「予防消防」にも重点を置き、各分団が地域での予防活動に専念することにより、市民の防火意識も高まりつつあります。今後も「安全・安心のまちづくり」のため、消防団が地域防災の先導者としての役割を果たせるよう、更なる鍛錬に励み、地域住民から信頼される消防団であり続けるように努めているところです。

## 加西市消防団の沿革

明治27年			北条村消防組織結成
昭和14.	4.	1	旧加西郡は、1町10村を有し11団115分団、消防ポンプ自動車1台、手引動力ポンプ46台、腕用ポンプ66台、団員3,560名を有し、警防団を編成し消防業務遂行にあたる
昭和22.	5.	1	消防団組織設置
昭和29.	3.	25	町村合併により旧大和村消防団が多可郡八千代村に編入合併した
昭和29.	3.	30	町村合併により旧芳田村消防団が西脇市に編入合併した
昭和30.	1.	15	旧北条町、富田村、賀茂村、下里村1町3村の合併により北条町消防団発足（消防団員1,315名、48分団組織）
昭和30.	3.	1	旧多加野村、在田村、西在田村3村の合併により泉町消防団発足（消防団員852名、32分団組織）
昭和30.	3.	30	旧九会村、富合村2村の合併により加西町消防団発足（消防団員620名、24分団組織）
昭和39.	7.	1	昼間消防力の不足解消のため、役場職員15名編成、消防ポンプ自動車1台配置し、泉町特設消防隊発足
昭和39.	9.	1	昼間消防力の不足解消のため、役場職員16名編成、消防ポンプ自動車1台配置し、北条町特設消防隊発足
昭和42.	4.	1	旧北条町、加西町、泉町3町の合併により加西市発足と同時に1市1団を組織、加西市消防団発足（12分団104部、2,699名）現有消防機材、消防ポンプ自動車6台、三輪改良ポンプ車2台、小型動力ポンプ46台、手引動力ポンプ48台市制発足により旧北条町、泉町特設消防隊を合同させ市職員46名でもって3小隊を編成し、消防ポンプ自動車2台で消防活動を遂行する
昭和45.	3.	31	消防本部（署）の設置に伴い、加西市特設消防隊を発展的改組
昭和45.	4.	1	常備消防の設置に伴い、消防団員の少数精鋭化を図り消防団員1,576名に減員する
昭和47.	2.	20	加西市消防団、(財)日本消防協会長から表彰旗受章

昭和47.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 12 台、小型動力ポンプ付積載車 8 台、小型動力ポンプ 72 台、手引動力ポンプ 11 台
昭和51.	3.	3	加西市消防本部・加西市消防団、消防庁長官表彰竿頭綬受章
昭和52.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 12 台、小型動力ポンプ付積載車 26 台、小型動力ポンプ 63 台、手引動力ポンプ 2 台
昭和52.	7.	1	第2分団に吉野自治区消防部を新設（12分団 105部）
昭和57.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 13 台、小型動力ポンプ付積載車 38 台、小型動力ポンプ 54 台
昭和61.	6.	29	加西市消防団、(財)兵庫県消防協会長から表彰旗受章
昭和62.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 13 台、小型動力ポンプ付積載車 50 台、小型動力ポンプ 42 台
平成元.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 13 台、小型動力ポンプ付積載車 52 台、小型動力ポンプ 40 台
平成2.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 13 台、小型動力ポンプ付積載車 53 台、小型動力ポンプ 39 台
平成3.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 13 台、小型動力ポンプ付積載車 54 台、小型動力ポンプ 37 台
平成5.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 12 台、小型動力ポンプ付積載車 55 台、小型動力ポンプ 37 台
平成7.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 62 台、小型動力ポンプ 31 台
平成8.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 63 台、小型動力ポンプ 30 台
平成9.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 69 台、小型動力ポンプ 24 台
平成10.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 72 台、小型動力ポンプ 21 台
平成11.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 73 台、小型動力ポンプ 20 台
平成12.	5.	28	加西市消防操法大会水出し操法開始

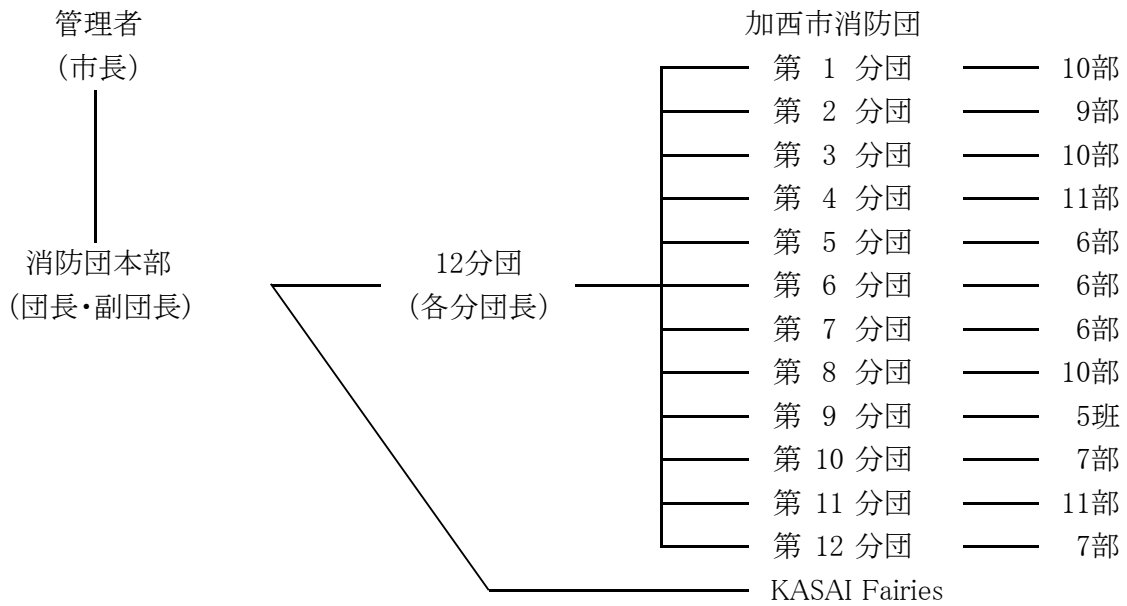
平成13.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 11 台、小型動力ポンプ付積載車 75 台、小型動力ポンプ 17 台
平成14.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 10 台、小型動力ポンプ付積載車 76 台、小型動力ポンプ 16 台
平成15.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 8 台、小型動力ポンプ付積載車 79 台、小型動力ポンプ 15 台
平成16.	3.	4	加西市消防本部・加西市消防団、消防庁長官表彰表彰旗受章
平成16.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 7 台、小型動力ポンプ付積載車 81 台、小型動力ポンプ 14 台
平成17.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 6 台、小型動力ポンプ付積載車 82 台、小型動力ポンプ 14 台
平成17.	10.	1	常備消防（南分署・北分署）設置後、署所からの遠隔地も解消また部の統合等に伴い、消防団員 1,482 名に減員する
平成19.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 5 台、小型動力ポンプ付積載車 83 台、小型動力ポンプ 14 台
平成20.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 3 台、小型動力ポンプ付積載車 86 台、小型動力ポンプ 13 台
平成21.	2.	13	加西市消防団、(財) 日本消防協会長から竿頭授受章
平成21.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 3 台、小型動力ポンプ付積載車 87 台、小型動力ポンプ 12 台
平成22.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 2 台、小型動力ポンプ付積載車 88 台、小型動力ポンプ 12 台
平成24.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 2 台、小型動力ポンプ付積載車 90 台、小型動力ポンプ 10 台
平成24.	10.	21	加西市消防団、(財) 兵庫県消防協会長から竿頭授受章
平成26.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 2 台、小型動力ポンプ付積載車 89 台、小型動力ポンプ 10 台
平成26.	4.	1	消防団員適正化を図り消防団員数 1,418 名に減員する
平成27.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 2 台、小型動力ポンプ付積載車 90 台、小型動力ポンプ 8 台
平成28.	3.	31	消防団現有機材、消防ポンプ自動車 2 台、小型動力ポンプ付積載車 91 台、小型動力ポンプ 7 台
平成29.	3.	8	加西市消防団、(公財) 日本消防協会長から表彰旗受章

平成30.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車91台、小型動力ポンプ6台
平成31.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車91台、小型動力ポンプ6台
令和2.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車91台、小型動力ポンプ6台
令和2.	4.	1	消防団員適正化を図り、消防団員数1,173名に減員する
令和3.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車91台、小型動力ポンプ6台
令和4.	3.	7	加西市消防団 消防庁長官表彰竿頭授受章
令和4.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台
令和5.	4.	1	消防団現有機材、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台
令和6.	2.	4	消防団現有機材、救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台
令和6.	4.	1	女性消防団 KASAI Fairies 発足
令和7.	3.	29	消防団現有機材、救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台
令和8.	3.	31	消防団現有機材、救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車2台、小型動力ポンプ付積載車92台、小型動力ポンプ5台

## 消防団の主な事業内容

実施月	主 な 事 業	
4月	令和7年度 加西市消防大会 令和7年度 新入団員（現場）訓練	於 加西市民会館 文化ホール 於 加西市役所
5月	令和7年度 部長・新入団員（礼式）訓練 令和7年度 機関員訓練 令和7年度 水防訓練	於 加西市役所 多目的ホール・職員駐車場 於 健康福社会館 於 アラジンスタジアム北側駐車場
8月	サイサイまつり花火警備	於 丸山総合公園内
9月～ 11月	救命入門コース受講（第1分団～第12分団）	於 加西消防署 大会議室
11月	秋季火災予防運動に伴う一斉非常演習 秋季火災予防運動に伴う防火宣伝パレード KASAI 防災フェスティバル 2025	於 各分団 於 市内全域 於 鶉野飛行場跡・防災備蓄倉庫前
12月	市街地火災防御訓練 救急救命講座（女性消防団） 年末火災特別警戒	於 イオンモール加西北条 於 健康福社会館 於 市内全域
1月	重要文化財防火訓練	於 国宝法華山一乗寺三重塔 於 国指定重要文化財酒見寺多宝塔
2月 3月	春季火災予防運動に伴う林野火災中継訓練	於 各分団

# 消 防 団 の 組 織



## 消 防 団 機 械 器 具 装 備 状 況

(令和8年3月31日現在)

区 分	救助用資機材搭載型 消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ 付 積 載 車	小型動力ポンプ	計
団本部 (Kasai Fairies)		1		1
第 1 分 団	2	8		10
第 2 分 団		9		9
第 3 分 団		8	2	10
第 4 分 団		10	1	11
第 5 分 団		6		6
第 6 分 団		6		6
第 7 分 団		5	1	6
第 8 分 団		9	1	10
第 9 分 団		5		5
第 10 分 団		7		7
第 11 分 団		11		11
第 12 分 団		7		7
総 数	2	92	5	99

# 消 防 団 員 数

## (1) 階 級 別 消 防 団 員 数

(令和8年3月31日現在)

階級別	団 長	副団長	分団長	部 長 (専任班長)	班 長	団 員	計
条例定数	1	3	12	99	380	678	1,173
実員数	1	3	12	98	375	662	1,151

## (2) 分 団 別 消 防 団 員 数

(令和8年3月31日現在)

階級別	分団名	団 長	副団長	分団長	部 長 (専任班長)	班 長	団 員	計
団員数	団本部	1	3	12			4 (Kasai Fairies)	20
	第1分団				10	38	110	158
	第2分団				9	36	57	102
	第3分団				10	40	55	105
	第4分団				11	41	44	96
	第5分団				6	24	45	75
	第6分団				6	24	57	87
	第7分団				6	20	26	52
	第8分団				10	37	54	101
	第9分団				5	20	38	63
	第10分団				7	28	49	84
	第11分団				11	39	75	125
	第12分団				7	28	48	83
計		1	3	12	98	375	662	1,151

## 在 職 年 数 別 消 防 団 員 数

(令和8年3月31日現在)

分 団	在職年数						計
	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上	
団 本 部	4 (Kasai Fairies)		3	3	8	2	20
第 1 分 団	54	44	42	18	0	0	158
第 2 分 団	11	27	20	21	13	10	102
第 3 分 団	14	22	26	17	16	10	105
第 4 分 団	8	21	24	21	14	8	96
第 5 分 団	12	13	21	19	9	1	75
第 6 分 団	26	25	21	11	4	0	87
第 7 分 団	10	29	7	5	0	1	52
第 8 分 団	16	20	28	27	9	1	101
第 9 分 団	7	11	18	16	5	6	63
第 10 分 団	17	17	27	17	6	0	84
第 11 分 団	10	28	44	27	13	3	125
第 12 分 団	6	17	26	20	14	0	83
計	195	274	307	222	111	42	1,151

## 消 防 団 員 報 酬

(令和8年3月31日現在)

階 年	級 額	団 長	副 団 長	分 団 長	部 長	班 長	団 員
( 単 位 : 円 )		212,000	130,600	122,200	36,000	32,500	26,000

## 消 防 団 員 出 動 手 当

(令和8年3月31日現在)

区 分		災害等現場出動	区分	訓練出動	広報活動
火災現場での消火活動、災害現場での処理・対応、行方不明者等の捜索活動等	1時間未満	2,000円	1回	2,000円	1,000円
	1時間以上4時間未満	8,000円			
	4時間以上	16,000円 (8時間を超えた場合は、1時間ごとに2,000円を加算する。)			

## 階 級 別 年 齢 別 消 防 団 員 数

(令和8年3月31日現在)

階 級	年 齢							合 計
	20才未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上	
団 長							1	1
副 団 長							3	3
分 団 長					1	6	5	12
部長(専任班長)		2	5	27	27	24	13	98
班 長		2	19	73	127	96	58	375
団 員	1	11	66	140	162	174	108	662
計	1	15	90	240	317	300	188	1,151

## 消 防 団 出 動 状 況

令和7年中 (令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区 分	火 災	水 害	演 習 訓 練	広 報 指 導	特別警戒	その他	計
出 動 回 数	20	0	9	15	4	1	49
出 動 車 両 台 数	90	0	262	887	287	0	1,526
延 人 員	389	0	2,058	1,987	2,126	515	7,075

# 消 防 団 員 表 彰 関 係

令和7年度中（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

表 彰 の 種 類	被 表 彰 者 等	表 彰 数	備 考
消 防 庁 長 官	団 長	1	永年勤続功労賞
	分団長・部長	6	退職報償（1号銀杯）
	分団長・部長・班長	39	退職報償（2号銀杯）
兵 庫 県 知 事	分 団 長	1	永年勤続功労章
	分団長・班長・団員	11	感 謝 状
（公財）日本消防協会長	分 団 長	1	功 績 章
	副団長・分団長	2	精 績 章
（公財）兵庫県消防協会長	副 団 長	1	功 績 章
	班 長・団 員	6	精 績 章
	班 長・団 員	11	勤 続 章
	部長・班長・団員	12	精 勤 章
加 西 市 長	分 団 長	5	功 労 章
北 播 消 防 協 議 会 長	消 防 部	1	優 良 綬（黒駒部）
	班 長・団 員	4	功 績 章
	部長・班長・団員	12	功 労 章
消 防 団 長	消 防 部	3	（坂前部） 優 良 綬（栄 部） （鍛冶屋・油谷班）
	部長・班長・団員	12	功 労 章
	部長・班長・団員	42	優 良 章
	退 職 消 防 団 員	44	感 謝 状
	消防団員の配偶者	3	内 助 の 賞